



2021年度

# 中国古典文化講座

わたしたちに語りかける中国古典文化

## 中国古典文学は 女性同性愛をどう描いたか？

講師 野村 鮎子氏

奈良女子大学文学部教授

場所

立命館大学衣笠キャンパス  
平井嘉一郎記念図書館  
カンファレンスルーム  
& オンラインライブ配信

10/23(土)  
13:00~14:30



近代以前の中国では男性同性愛は性的指向の一種として社会的に許容されていた。男性同士の愛情をテーマとした文学作品も古くからある。男性同性愛は歓迎されはしないにしても、すべて否定されていたわけではない。

一方、女性同性愛に関する歴史上の記録やそれをテーマとする文学作品は極端に少なく、その描かれ方も欲求不満の女が異性の代替として同性と関係をもつといった偏見に満ちたものが多い。そんな中、明末清初の新漁

(1610~1680)の長編戯曲「憐香伴」は女性同性愛を肯定的に描いた極めて特異な作品といえる。この作品から当時の妻妾同居といった婚姻制度の矛盾、中国文学における男性同性愛と女性同性愛の描かれ方の違いを考える。

参加無料

お申込はこちらから



連絡先：立命館孔子学院（立命館大学 国際平和ミュージアム2階）

〒603-8577 京都市北区等持院北町56-1 アカデメイア立命21内

TEL：075-465-8426 FAX：075-465-8429 MAIL：koza@st.ritsumeikan.ac.jp HP：http://www.ritsumeikan.ac.jp/confucius/